

「NAMA と MRV の実践から得た学び」 傍聴報告

2012年12月3日

一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2012年11月26日～12月7日にカタール・ドーハで開催された国連気候変動枠組条約第18回締約国会議 (COP18) において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル : NAMA と MRV の実践から得た学び (Exploring practical experience of NAMAs and MRV requirements)
- 日時 : 2012年12月3日 (月) 13:15 - 14:45
- 主催 : 北欧閣僚理事会 (Nordic Council of Ministers)、北欧環境金融公社 (Nordic Environmental Finance Corporation (NEFCO))
- 会場 : Qatar Room 10 (Qatar National Convention Centre)
- プレゼンター : Ash Sharma (北欧環境金融公社副総裁)、Claudio Forner (UNFCCC 事務局緩和、データ、分析チームリーダー)、Eduardo Durand (ペルー環境省気候変動局局長)、Luis Munozcano (メキシコ環境天然資源省気候変動局副局長)、Tran Thuc (ベトナム気象水文環境研究所 (IMHEN) 局長)、Ulla Blatt Bendsen (デンマークエネルギー庁シニアアドバイザー)、Andreas Tvetraas (ノルウェー国際気候・森林イニシアティブ副部長)、Jochen Harnisch (KfW 環境・気候部部長)、Michael Comstock (クリーン・エア政策センターマネージャー)

■ 概要

冒頭、Ash Sharma (北欧環境金融公社副総裁)より、プレゼンターの紹介と途上国における途上国による適切な緩和行動 (NAMA¹)の資金支援に関するこれまでの議論を振り返るといふサイドイベントの趣旨説明がなされた。また、NAMA の測定、報告、検証 (MRV²)システムが充たすべき最低限の要求事項は何か、という問題が提起された。

1. Claudio Forner (UNFCCC 事務局緩和、データ、分析チームリーダー) : 「UNFCCC の幅広い文脈における NAMA の MRV (MRV of NAMAs in the broader context of MRV under UNFCCC)」
- NAMA の MRV のコンセプトはまだ固まっていないが、NAMA の「報告 (MRV の R)」は、国家レベルと活動レベルの 2 種類が必要である。国家レベルの報告は、国別報告書 (National Communications)と隔年報告書 (Biennial Update Reports : BUR)、またこれらの報告書に関する国際的な協議と分析(International Consultation and Analysis : ICA)により推進される。アクションの内容は、国家レベルの報告に反映される。

¹ Nationally Appropriate Mitigation Action の略

² Measurement, Reporting and Verification の略

- 国際的な支援を得るためには、何らかの要求事項を充たす必要がある。支援による **NAMA (Supported NAMA)**に関するガイダンスはない。二国間で議論されることを期待している。
 - これまでの取り組みから、**NAMA** と **MRV** について、次の教訓が得られた。まず、国別報告書や国家計画の策定など、政府の役割がより重要になっている。そして、政府は活動による国家目標達成への貢献度を評価することが求められている。最後に、評価の方法として温室効果ガス排出を中心とした持続可能な発展に関する広範な指標の設定が必要である。
2. **Eduardo Durand** (ペルー環境省気候変動局局長)、**Luis Munozcano** (メキシコ環境天然資源省気候変動局副局長):「開発途上国から見た **NAMA** の **MRV** (**MRV of NAMAs from the perspective of developing countries**)」
- メキシコ政府は、**NAMA** として特別気候変動プログラム (**Special Climate Change Program**)を策定し、オンライン報告システムの構築や第三者評価の実施などを行っている。**CDM** とクレジットを活用する **NAMA (Crediting NAMA)**について、それぞれ異なる **MRV** が必要であると考えている。
 - ペルー政府は、土地利用、土地利用変化および森林、エネルギー、廃棄物などのセクターで **NAMA** を策定している。**CO2** 排出量の削減だけではなく、人々の習慣を変えることに焦点を当てている。**NAMA** を通して、安全で健康な未来を創りたい。
3. **Tran Thuc** (ベトナム **IMHEN** 局長)、**Ulla Blatt Bendsen** (デンマークエネルギー庁シニアアドバイザー):「気候変動に関する短期資金による **NAMA** 支援—デンマーク・ベトナム省エネプログラム (**NAMAs supported by fast start climate finance-The Danish Vietnamese Energy Efficiency Programme**)」
- ベトナム政府は、気候変動に関する国家戦略や国家アクションプランを策定し、グリーン成長と低炭素経済の主流化に向けた取り組みを行っている。現在、日本や国連開発計画 (**UNDP**)、国連環境計画 (**UNEP**)、ドイツ国際協力公社 (**GIZ**)などの支援を受けて、**NAMA** を策定している。
 - 2012年11月、デンマークと「ベトナム省エネプログラム (フェーズ2)」の実施を合意した。中小企業 (レンガ工場、セメント工場など)や建物の省エネとこれらの **MRV** システムの構築を目的としている。
 - **NAMA** の **MRV** に雇用創出や環境汚染の改善、貧困対策、ジェンダー平等などのコベネフィットの要素を含めることが重要である。
4. **Andreas Tvetraas** (ノルウェー国際気候・森林イニシアティブ副部長):「**REDD** プラス—ガイアナ・ノルウェー**REDD** パートナリシップ (**REDD+ –payments for verified**

emission reductions – The Guyana Norway Partnership on REDD)」

- ノルウェーはガイアナ共和国と二国間協定を締結し、REDD プラスの MRV に関するロードマップを段階的に作成している。
- 森林管理の指標として総森林減少、違法伐採、森林火災などを採用している。

5. Jochen Harnisch (KfW環境・気候部部長)：「新しい市場メカニズムにおけるNAMAのMRV (MRV of NAMAs in a new market based mechanism)」

- KfW は NAMA に対する融資の条件を次のとおり定めている。①野心のレベル、②国の関心とオーナーシップ、③成熟度と担保可能性、④MRV システムである。
- 2012～2013 年に NAMA に対して莫大な資金 (二国間融資、EU ファシリティ、開発銀行、緑の気候基金など)が利用可能になるだろう。NAMA は国際的に融資を受ける緩和プログラムの基準になる。従って NAMA の品質は、野心的でなければならない。一方で、拡大可能で取引コストが少なく、経済的・政治的に持続可能でなければいけない。

6. Michael Comstock (クリーン・エア政策センターマネージャー)

- クリーン・エア政策センターは、カナダ、ドイツ、スウェーデンの支援により、MAIN (Mitigation Action Implementation Network)イニシアティブを推進している。MAIN イニシアティブを通して、南米やアジアで地域間の対話やベストプラクティスの抽出、知識の共有などを行っている。
- NAMA の MRV では、温室効果ガスだけではなく、持続可能な開発の観点を含めることが重要である。クリーン・エア政策センターは、MRV のアクションマトリックスに大気環境やハリケーンの影響、再生可能エネルギーの比率などの指標を加えることを提案している。

■ 質疑応答

Q. ベトナムでは省エネに関する法的枠組みはあるか。

A. Tran Thuc (ベトナム IMHEN 局長)：省エネに関する法律がある。

Q. NAMA における民間セクターの関与とは何か。

A. Jochen Harnisch (KfW 環境・気候部部長)：NAMA への公的資金を効率的に使うために、MRV への民間セクターの関与が求められている。クレジット活用による NAMA も想定されるが、まだ制度設計されていない。

(報告者：OECC 中尾有伸)



これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official report by the meeting organizer. Do not quote.

COP18 サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版：http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_COP18report.html

英語版：http://www.mmechanisms.org/e/relation/details_oecc_COP18report.html